



戦争をさせない
Anti-War Committee of 1000
1000人委員会

1000人委員会ニュース
NO.44
(2016年5月25日)
〒101-0063 東京都千代田区
神田淡路町1-15 塚崎ビル三階
TEL.03-3526-2920
FAX03-3526-2921

戦争法の廃止を求める統一署名 5月19日に国会へ提出



昨年の11月より全国各地で取り組まれてきた「戦争法の廃止を求める2000万統一署名」は1200万筆を突破し、総がかり行動実行委員会は、5月19日、衆院第1会館で署名提出集会を開催しました。参加した各団体の代表は集会に参加した野党3党の党首含めて衆参両議員32名に署名を手交。数日かけて1200万筆の署名を衆参両議院の議長あてに提出することになりました。



日本の今日と明日のため 本気でたたかい抜こう！

集会では、最初に総がかり行動実行委員会を代表して**福山真劫さん(戦争をさせない1000人委員会)**が挨拶。「1200万筆には平和への願いや想いが込められている。参議院選での画期的な野党共闘も完成しつつある。私たちが共闘して本気でたたかえば、戦争法の廃止、安倍政権の退陣は可能であると確信する。この時代を生きるものとして、平和と民主主義のため、日本の今日と明日のために責任の果し合いをしたい。明日を決めるのは安倍ではなく、私たちだ。ともにたたかいぬこう」と訴えました。



集会には**民進党の岡田党首、共産党の志位委員長、社民党の吉田党首、生活の党の玉城デニー衆議院議員**が各党を代表して参加。各党所属の国会議員32名も参加。各議員が紹介議員となって請願署名を提出することから、署名活動を担った29の各団体の代表らが各議員に署名を手交しました。

また、署名活動を担った29団体を代表して全国視覚障害者団体協議会・安全保障関連法に反対する学者の会・NGO非戦ネット・さよなら原発1000万人アクションの各代表が発言、中でも**全国視覚障害者全国協議会の田中昌治さん**は「戦前、障がい者は『ごくつぶし・米くい虫』などと言われ、迫害されつらい思いをした。二度と繰り返されてはならない。戦争法によって福祉は削られ、軍事費が増えていくことを危惧して署名を取り組んだ。この署名には視覚障がい者の戦争反対・平和への思いが詰まっている。」と訴えました。



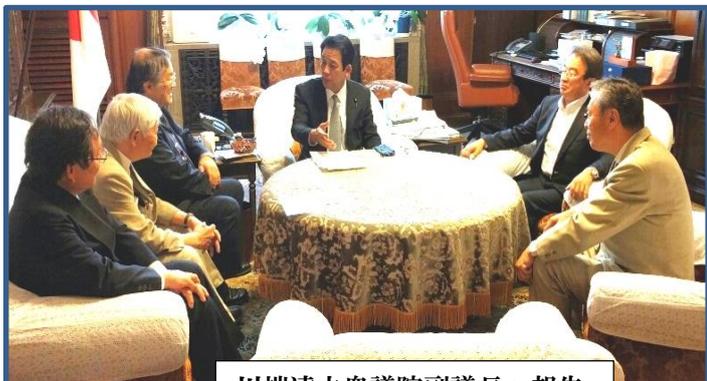
田中昌治さんは「戦前、障がい者は『ごくつぶし・米くい虫』などと言われ、迫害されつらい思いをした。二度と繰り返されてはならない。戦争法によって福祉は削られ、軍事費が増えていくことを危惧して署名を取り組んだ。この署名には視覚障がい者の戦争反対・平和への思いが詰まっている。」と訴えました。

NGO非戦ネットの谷山博史さんは「自衛隊の駆けつけ警護は武力行使の一体化に他ならない。自衛隊は住民をも巻き込む紛争当事者になる。日本は国際社会から信頼を得てきた平和主義という資産を失いかねない。日本は平和憲法を生かして独自の平和貢献を！」と訴えました。

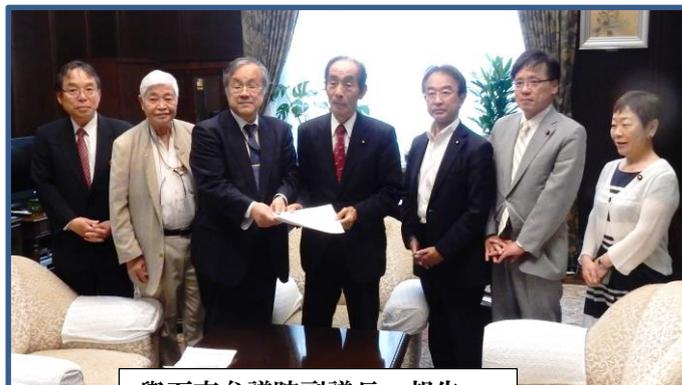


32名の国会議員に請願署名を手交

最後に、**総がかり行動実行委員会の小田川義和さん（憲法共同センター）**が行動提起を行い「毎月の19日行動や6月末まで継続する署名活動を取り組み、6月5日には昨年の8・30集会を上回る行動として成功させよう。そして、市民の力で参議院選挙勝利へ結びつけていこう！」と呼びかけました。



川端達夫衆議院副議長へ報告



輿石東参議院副議長へ報告

明日を決めるのは私たち、政治を変えよう！

6・5 全国総がかり大行動

- 日時：6月5日（日）14:00～
- 場所：①国会正門前ステージ
②外務省前・霞が関郵便局ステージ
③日比谷公園カモメ広場ステージ

■呼びかけ団体：
戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会
安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合

■主催：6・5全国総がかり大行動実行委員会

立憲フォーラム・戦争をさせない1000人委員会共催 「さあ！安倍政治を 終わらせよう！5・19集会」

高野孟さん・櫻井みぎわさん・奥田愛基さん
山口二郎さん・菱山南帆子さんがスピーチ



集会は江崎たかし参議院議員の司会で進行。最初に立憲フォーラム代表の近藤昭一衆議院議員が主催者挨拶。「先ほど衆参両議院の副議長に1200万筆の戦争法廃止の要請署名に関する要請を行っ

た。立憲主義、憲法が危機的な状況だ。かつての戦争でアジアでも国内でもたくさんの犠牲者を出してしまった。繰り返してはならない。そのためにも、ともにたたかっていきたい」と訴えました。



そして、高野孟さん、櫻井みぎわさん、奥田愛基さん、山口二郎さん、菱山南帆子さんらが登壇、次の発言(要旨)をしました。

高野孟さん(ジャーナリスト)



今度の選挙の争点は安保法ではなく福祉や介護や子育てだという人がいたが、そうでない、安保こそ主要な争点だ。政権を過半数割れに追い込んで安保法廃止の条件を作る選挙だ。安保も福祉も暮らしも原発も争点だ。すべてののちの問題だ。安倍総理は安保法の成立直後、来年の夏にはそんなこともあったねと忘れさせることが大事だと語ったが、そうさせてはならない。ネット発信が国会前のデモとなり、そして署名活動となり、政策に変化をもたらした保育園問題のように、民主主義が、変わろうとしている。2000万署名活動は参議院選挙の票読みでもある。署名活動は何としても成功させなければならない。そして、参院選挙で自公の過半数割れを追い込むため、頑張るしかない！

櫻井みぎわさん(弁護士)



安倍総理は安保法は平和と安全のためと言うが、中東などのイスラム諸国から嫌われている米軍と一体化した軍事行動を日本がすれば、日本も当然恨みを買って戦争に巻き込まれテロのターゲットになってしまう。米国はアフガンイラク戦争で約6~7千人の兵士が戦死し、生き残っても50万人の兵士が精神的な障害をおい、毎年250人が自殺している。そしてアフガンやイラクで一般市民の犠牲者は大変な数に上る。これが現実だ。

また、国民の人権を守るために憲法は権力をしぼるもの。憲法は私たちの人権や命や暮らしを守っている。憲法をないがしろにすることは私たちの人権をないがしろにすることだ。私たちにはどうしても譲れない一線というのがあるはずだ。それは私たちの人権を保障する憲法を無視することを許さないという一線だ。これからも安全保障法の廃止のため力を合わせてがんばろう！

奥田愛基さん(SEALDs)



治療を受けていて痛い！と叫んだらその医者から「だったら対案を出せ！」って言われたらどうするか(笑)そんな医者は代えるしかない。また、デモを石破さんはテロと本質的に同じだと言った。痛いのに痛いって言えないことは人間的におかしいことで、今の社会には痛いって言えないような気がして嫌だなんて思う。痛いとの表現に何か本質的なものがある。樋口陽一さんが市民知という表現で素人の知識が重要で、専門家と素人との闘い合いの構図が大事だと指摘し、素人をなめんなよと言っている。この言葉を聞いて菅原文太さんの「玉はまだ残っとるぜよ」の言葉を思い出した。菅原さんは言



っている。「玉の正体はこれまで勉強してきたことや、周囲からの愛情や支えであり、本当に自分が勝負をかけたいときにぶっ放すものだ。たとえその玉が当たらなくても俺にはこの玉があると強がればいい。」と。私も言いたい、「玉はまだ残ってるぜよ！」

山口二郎さん(市民連合)



岸信介が目指した自主憲法の制定は60年安保闘争という市民革命によって敗北。その結果作られた戦後憲法体制は、9条と日米安保の枠内での穏健路線で、自民党により維持されてきた。安倍総理はその戦後憲法体制を壊そうと戦争法を強行、戦争のできる国にし、憲法改悪を狙っている。戦争のできる国の特徴は①事実を隠蔽するためのメディアの抑圧。②国民にあまり考えさせないようにするため反知性主義の蔓延。③国民の生き方などへの画一化・・・だ。しかし、さすがに国民もこの動きに危機感を持ち、憲法改正反対の声が大きくなり世論が変わってきた。戦争法は憲法への愛着を呼び覚ましたといえる。私たちは自信を持っていい。選挙も野党結集が進み北海道5区では善戦。無党派層に働きかけをつよめ、投票率を高めれば勝てる。次の選挙は戦後憲法体制の破壊をもくろむ安倍政権を返り討ちにする選挙だ。

菱山南帆子さん(総がかり行動実行委員会)



戦争と独裁の暗雲を押し返す力強い立ち上がりが始まっている。政治を変え未来を私たちの手に取り戻す絶好のチャンスが来ている。参院選での勝利はワイマール共和制からナチス独裁が生まれたことの再現を打ち砕くに等しいものだ。そのためには分裂しては行かない。この共闘の精神を野党結集に結び付け参院選挙に勝利を。昨年の8月上回る6・5大行動を絶対に成功させ、参院選勝利への勢いを私たちの手で作ろう。私はどんなことがあっても決してあきらめず、憲法改悪阻止・反戦平和を訴えていく。みんなの力で、山を動かそう！

また、福山真劫さん(1000人委員会)が行動提起。



「6・5大行動を昨年を上回る結集で成功させ、野党共闘が成立した7月の参議院選挙勝利へ全力を！」と訴えました。

安倍内閣退陣！参院選勝利！ 5・19 総がかり行動に4800人

昨年9月19日の安保関連法＝戦争法の強行採決から毎月19日を行動日として取り組んでいる国会前行動が5月19日も開催され4800人が参加、安倍内閣の退陣、参議院選挙勝利を訴えました。

集会は、**菱山南帆子さん(9条壊すな！実行委員会)**の司会で始まり、最初に各政党から、**社民党の吉田忠智党首、共産党の志位和夫委員長、民進党の小川敏夫参議院議員**が登壇。野党共闘と市民の力で参議院選挙の勝利する決意をそれぞれに訴えました。

そして、総がかり行動実行委員会の構成三団体である、1000人委員会、9条壊すな！実行委員会、憲法共同センターの代表が挨拶しました。**1000人委員会を代表して清水雅彦さん(日体大教授)**は「次の選挙で与党が3分の2を取れば大変なことになる。野党統一の力で我々が野党の応援団の役割を果たせば、憲法理念を実現する勢力が過半数を獲得できる。そんな運動をやりましょう！」と訴えました。



1000人委員会の清水雅彦さん



行動提起をする1000人委員会の藤本泰成さん

最後に**1000人委員会の藤本泰成さん**が行動提起を行い「もうじき暑い夏がやってくる。参議院選挙で野党候補の勝利に向け、心一つにしたたかいぬこう。また、6月5日午後2時から国会周辺・霞が関に大きな大きな人の輪を作って、市民の力でこの国を変えていこう。」と訴えました。



次に、沖縄からの発言として**糸数慶子参議院議員・大城悟さん(沖縄平和運動センター)・中村司さん(沖縄統一連)**らが発言。沖縄で発生した女性暴行殺害事件で被害女性の死体が発見され、元海兵隊員の男が逮捕されたニュースにふれ、「基地がある故に繰り返される犯罪、いつまで沖縄はこんな目に合うのか。あくまでも基地撤去に向けみなさんとともにたたかう」とその決意を語りました。

6月末まで継続して取り組もう 戦争法の廃止を求める2000万統一署名

◆◆◆ 主な行動日程 ◆◆◆

■ 6月5日(日) 14:00～15:30

明日を決めるのは私たち、政治を変えよう！6・5全国総がかり行動

場所：①国会正門前ステージ②外務省前・霞が関郵便局ステージ③日比谷公園カモメ広場ステージ

呼びかけ団体：・戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会
・安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合

主催：6・5全国総がかり大行動実行委員会

■ 6月19日(日) 14:00～

(仮称)参議院選勝利！安倍内閣退陣！総がかり行動

場所：国会正門前

主催：総がかり行動実行委員会